

川嶋工務店  
川嶋  
満さん

社員はみな大工の工務店。木材を手始めに扱う住家のことをこれからも求め、技能者養成に力を入れていく。格好いい大工を育て、自分も成長していったい。

鶴須住宅  
益子晃人さん

不動産分譲も含めて取り組んでいます。高価格住宅で差別化を図ってきたが、昨年からはバッシュディベインも着手。自然素材の活用にも使命感を持って対応したい。

大久保工務店  
大久保貴生さん

FPの実習に加盟し、昨年は加盟店と共にバッシュ住宅の商品化を実現。木へのこだわりでハイスペックな住宅を提供する。自然素材の活用にも使命感を持てて対応したい。

川永建設  
川永憲三さん

宮大工として創業し、自分が4代目。寺社建築への取り組みの一方でFPの家に加盟。新商品の開発にも参加した。最近はコンパクトな家が増えている。家族が笑顔になる家づくりがモットー。

門田建設  
松村教男さん

家族経営の工務店で、FPの家に加盟。長崎県民住宅を標準仕様にセロエネルギー住宅など取り組んでいる。今後はバッシュディベインの考え方を取り入れたいと考えている。

今泉建築設計事務所  
小林郁則さん

25年間に渡り、地元の大工としてリフォームを中心に数多くの現場に関わってきた。今後、会社をあげて職人養成に力を入れていきたい。目標は次世代につながる仕事を。

サンワ設計小山商店  
水井友哉さん

ツーバイフォー住宅やリフォームを行なう地元工務店。現在、どこにアフターフィート力を入れている。昨年は消費増税の逼みで展示場の集客が増えていている。目標は満足してもらつたまつた快適な家づくり。

オーフニックススタジオ  
田中武さん

設計主体の工務店として活動。自分の仕事をやを考えをアナウンスし、共創していく住まいををお客様にしたい。震災後は、エアコン1台であったたまにバッシュな家づくりに目を向けていた。

イケダ  
池田光一さん

製材から取り組み、栃木県素材を使用率100%など、地域顕著性を志向した家づくりを行なっている。事業規模の拡大をめざす。いらない仕事を一つひとつこなすのがモットー。

木の城工房  
上野修一さん

環境意識の高い住まい一手と仕事をしたいと考え、かつ、等身大を心がながら、地暖給湯の家づくりや自然エネルギーの活用を情報を発信している。道のりから間、わせがわせがある。

新規ハウジング主催

## 第5回

## 地域工務店

技能継承の考え方  
若い大工をどう育てるか

「カッコよさ」は單に、職人薫<sup>カッコイイ大工</sup>や道具<sup>カッコイイ工具</sup>のきびきびとした仕事ぶりには、思わず存続<sup>生き残る</sup>だけの大工につくらんとあるが、必ずしも、それ以上に、技術の良さなどを評議<sup>評議する</sup>が、それが工務店の質である。そのため、以前は、職人薫<sup>カッコイイ大工</sup>や道具<sup>カッコイイ工具</sup>の良さを象徴して、FPの家に加盟し、昨年は加盟店と共にバッシュ住宅の商品化を実現。木へのこだわりでハイスペックな住宅を提供する。自然素材の活用にも使命感を持てて対応したい。

松本紀英「松本建設工務店」  
「カッコよさ」は單に、職人薫<sup>カッコイイ大工</sup>や道具<sup>カッコイイ工具</sup>のきびきびとした仕事ぶりには、思わず存続<sup>生き残る</sup>だけの大工につくらんとあるが、必ずしも、それ以上に、技術の良さなどを評議<sup>評議する</sup>が、それが工務店の質である。そのため、以前は、職人薫<sup>カッコイイ大工</sup>や道具<sup>カッコイイ工具</sup>の良さを象徴して、FPの家に加盟し、昨年は加盟店と共にバッシュ住宅の商品化を実現。木へのこだわりでハイスペックな住宅を提供する。自然素材の活用にも使命感を持てて対応したい。

## 力ハツコイイ大工を育てよう

田中武「オーガニック

満足してもらつたまつた快適な家づくり。

田中武「オーガニック

満足してもらつたまつた快適な家づくり。

工務店・リフォーム会社

渡商

渡邊貢さん

松本紀英「松本建設工務店」

渡商

渡邊貢さん

水まわり機器の問屋。住宅兼世界の情報もいち早く工務店に提供し、サポート機能を充実させていたい。住宅政策への取り組み方などについて、セミナーを開催していく。

流通

## みんなの意見

# ミーティング in とちぎ

新津ハウジングは3月6日、栃木県宇都宮市で「第5回地域工務店ミーティング in とちぎ」を開催。栃木県の木材振興部などとちぎの木で家をつくる会からゲストを招き、県内の工務店・リフォーム業者からは経営者・実務者ら16人が参加した。当日の意見交換の内容を抜粋して紹介する(本文中、敬称略)。

## 家づくりの流儀を明確に

「家づくりの流儀を明確に」というテーマで、新津ハウジング編集長・竹内尚尚美さんと、お宅にいらっしゃるお客様が対話をすることによって、より良い家づくりができるよう、お互いがお互いを尊重するコミュニケーションを取ることをめざす。このミーティングでは、新津ハウジング編集長・竹内尚尚美さんと、お宅にいらっしゃるお客様が対話をすることによって、より良い家づくりができるよう、お互いがお互いを尊重するコミュニケーションを取ることをめざす。

会場には、新津ハウジング編集長・竹内尚尚美さんと、お宅にいらっしゃるお客様が対話をすることによって、より良い家づくりができるよう、お互いがお互いを尊重するコミュニケーションを取ることをめざす。このミーティングでは、新津ハウジング編集長・竹内尚尚美さんと、お宅にいらっしゃるお客様が対話をすることによって、より良い家づくりができるよう、お互いがお互いを尊重するコミュニケーションを取ることをめざす。

## 寄り添う姿勢に住まい手の信頼

思うのは、家づくりによく

対する姿勢を自分の流

の家づくりをめぐらしてい

たまに、新規希望者は、

自分で「新築」としてい

ます。これは、自らの家の

お家をお手伝いしてい

いたまに、生活をイ

ベージしてもらうこと

が効果的だと感じてい

た話をお客様に向かって



司会:新津ハウジング編集長・竹内尚尚美さん

う家を見たり、撮影したり、直接的な集客には至っていない。これは、パッシブな「循環型の家づくり」でも取り組んでいる。ここ大切だと見え切れず、直接的な集客には至っていない。これは、パッシブな「循環型の家づくり」でも取り組んでいる。これらは、「家づくりをめぐらしてい」という気持ちでいる。「人間大好き」とから始め、じめで、「お客様を理解する」ことから始め、じめで、「家づくりをめぐらしてい」という気持ちでいる。これからもお客様に誠実さを理解する。これが最終的には、「O.B.客」もお得意でカウンセリングのようなる立場でセイヨウのようなる立場でシヨンに別れるプロモーションが社員がつくるホールドアップ等で、新しい技術を理解する。これが「家づくりをめぐらしてい」という気持ちでいる。これからもお客様さ

これまで高耐震住宅

でも、なかなかお客

の客が来ない。その原因として、工事看板や周辺環境などの印象が悪いことがあります。そこで、まずはお客様の立場で、どのような印象があるかを聞きたい。

そこで、お問い合わせ

する際は、なるべく

お気を使っている。

お問い合わせ

する際は、なるべく

お気を使っている。

お問い合わせ

する際は、なるべく

お気を使っている。

お問い合わせ



NPO法人化で活動の輪広げる  
とちぎの木で家をつくる会会長

大野 格さん

とちぎの木で家をつくる会は13年前、木材の需要拡大を目的に県が支援して組織された。会員として延岡の大工置屋ら約30社が参加し、県の住宅見学会や住宅イベントに協力してきた。

最近では東日本大震災にともなう伝統建築物の調査にも協力、修復工事にも参加した。また昨年の春番組の調査にも関わった。今後はNPO法人の認可を得ることで、さらに活動の幅を広げていく考えだ。

日本の伝統建築が長い年月を経て残っている理由の一つは、「バッシュデザインの優秀さ。住宅デザインとはつまり「バッシュシステムをいかにデザインするか」とだと考えている。



横架材で利用するための技術支援  
橋本県環境森林部材葉振興課木材利用推進班長

大島康男さん

県として取り組んでいる「とちぎの木で家づくり事業」は、25年度「総額の見直し」。木造住宅の普及を目指し、60万円を限度に課税費を縮減する。構造部材の割合、そのほかの木材への導入等に費用を支払うことなどが条件となる。

木製品は木材生産が高齢傾向にあり、2位。木材の品質も高い評価を得ている。近年、中古材が太くなり、梁、軒樋など横架材での使用を企画して製材を進めているケースが増えている。そのため県としてスケールの大きい施工事例などに取り組んでいる。

木製品は木材生産が高齢傾向にあり、2位。木材の品質も高い評価を得ている。近年、中古材が太くなり、梁、軒樋など横架材での使用を企画して製材を進めているケースが増えている。そのため県としてスケールの大きい施工事例などに取り組んでいる。